

おう吐物・ふん便の処理はどうするの？

準備する物

使い捨て手袋／ビニール袋／マスク／ガウンやエプロン
拭き取るための布やペーパータオル／塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）

はじめに使い捨て手袋とマスク、エプロンを着用します。
（使い捨て手袋がない場合は、ビニール袋等をかぶせ、直接手で触れないように工夫する。）



汚物（おう吐物・ふん便）は、布やペーパータオル等で外側から内側に向けて、汚れた側を折り込みながら静かにぬぐり取ります。

使った布やペーパータオル等はすぐにビニール袋に入れ、袋の口を閉じ処分する。

汚物がついた床とその周囲は、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染みこませたペーパータオル等で浸すように拭く。

手袋等はずし、十分に手洗い、うがいをする。衣服やシーツ等が汚れた場合は、手洗いして洗濯する。

同じ面ですると汚染を広げてしまうので拭き取り面を折り込みながらぬぐいとしましょう。

ビニール袋内に0.1%次亜塩素酸ナトリウムをペーパータオル等に染みこむ程度に入れるとよい。

フローリングやカーペットなど材質によって変色等する可能性がありますので、確認してから消毒してください。



その他の注意点

- きちんと拭き取りすることがまず大事です。
- 処理をする時とその後は、部屋の窓を開けるなどして換気をよくしてください。
- 下痢をしている人がいる時は、トイレのドアノブも消毒してください。

カーペットの消毒方法(例)

①～④の手順で、熱による殺菌をしましょう。

②ペットシートに熱湯を含ませる

④タオルを2枚重ねて被せ、保温

③レジャーシートで覆う

①ペットシートを被せる

吐物痕

カーペット

カーペット等消毒しにくい物は、スチームアイロンやペットトイレ用ペーパーシートに熱湯を含ませて覆う等熱で殺菌する方法もあります。

- ・ 殺菌には、カーペットの深部で60℃以上、5分以上の加熱が必要です。十分に加熱時間を確保して下さい。
- ・ カーペットの素材・厚さやペットシーツの種類により加熱効果は変わります。
- ・ 片付けの際には、やけどに注意して下さい。

(出典)

- ・ 「感染予防ガイドブック 初版 (2012年2月)」
東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座 感染制御・検査診断学分野
東北大学大学院医学系研究科 感染症診療地域連携講座
- ・ 富山県「ノロウィルスによる食中毒を予防しよう!! (食品衛生研究VOL62より)」